

山田日之出ガス リスクアセスメント No.7

山田日之出ガス(株) 本社充填所

容器配送作業

【想定されるリスクシナリオ】

- (1)配送作業で50K容器を積載している。
- (2)容器を交換する際、トラックから50K容器を落下させてしまい
落下した衝撃によってキャップが曲がってしまった。
- (4)パイプレンチで強引に回したところ、中の容器バルブのハンドルに当たり
ガスが噴出し、手指にかかり医者治療となる。

【潜在するリスクの見積もり】

- (1)事故の発生確率:3(1年に1回程度発生)
- (2)事故の重篤度: I (軽微・・・医者による治療)
- (3)該当するリスクに×をする

【潜在するリスクの程度】

今回の場合は、黄色(中リスク)なので速やかに低減処置を講ずることが必要となる。

【リスク低減処置の内容検討】

- 予防策として以下が提案された。
- (1)キャップは完全に装着すること。
 - (2)配送時は荷締機により確実に緊縛を行うこと。
 - (3)容器取扱いについての注意事項の確認。

【リスク低減策実施後に存在するリスク】

- (1)事故の発生確率:1(まず起こりえない)⇒事故の発生確率が3から1に低減
- (2)事故の重篤度: I (軽微・・・医者による治療)
予防策を講じたことから容器配送作業に存在するリスクは「中リスク」から
「低リスク」になった。

【低減処置の実施と結果の関係者への周知】

- (1)リスクアセスメントの結果を関係者に指示し、リスク低減処置状況を報告させることとした。
- (2)事業所内にリスクアセスメントの結果を掲示した。

事故の発生確率	4					
	3		× ↓			
	2					
	1		○			
	0					
		0	I	II	III	IV
事故の重篤度						

【事故の発生確率】

- 0: 考えられない
- 1: まず起こりえない(10年に1回程度の発生が考えられる)
- 2: 起こりそうにない(数年に1回程度の発生が考えられる)
- 3: 時々発生する(1年に1回程度の発生が考えられる)
- 4: しばしば発生する(1月に1回程度の発生が考えられる)

【事故の重篤度】

- 0: 無傷又は救急箱で対応
- I: 軽微(医者による治療)
- II: 中程度(通院治療)
- III: 重大(重症、入院治療)
- IV: 致命的(死亡)